



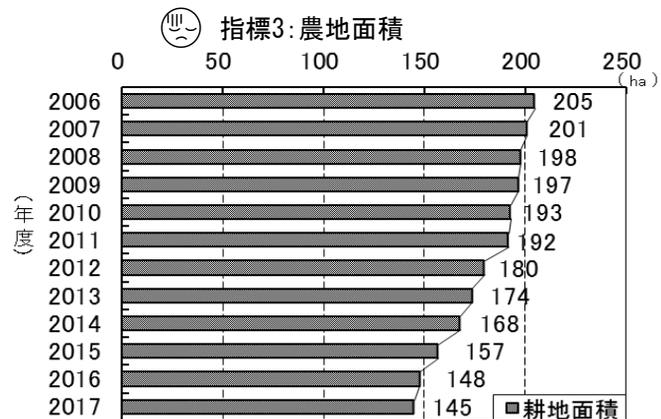
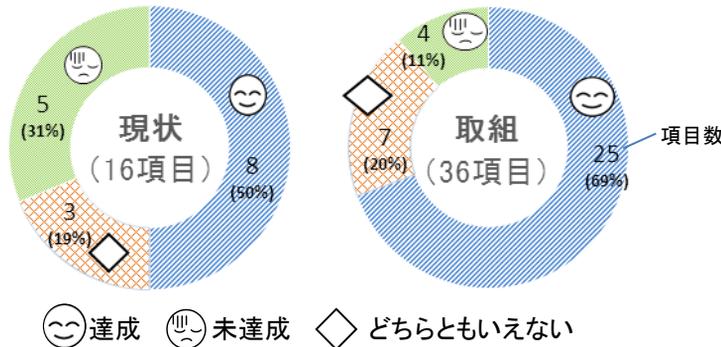
日野市立カワセミハウスは旧環境情報センターの機能と地区センター機能を融合して平成29年4月1日に誕生しました。このカワセミハウス通信は日野市の環境に関する情報に加え、カワセミハウスで行われる活動や開催予定の行事・イベントなどの情報を発信していきます。

2017年度(平成29年度)日野市環境白書を発刊しました

日野市では、環境基本条例に基づき環境に関する年次報告書として「日野市環境白書」を毎年発刊しています。「環境白書」は日野市環境基本計画の柱である5つの分野、「みどり」「水」「ごみ」「地球温暖化」「生活環境」のそれぞれの分野ごとに環境指標を設定し、毎年の移り変わりを図表などで示しています。また、市民の皆さんの協力をいただき、計画の進行状況の評価、確認を行なっているほか、市の機関、市内の市民団体・学校・事業者などの環境への取り組みについても紹介しています。2017年度環境白書では、より見やすくわかりやすくするために、指標の見直しやデータのとりまとめ方法の見直しを行いました。2018年9月に発刊した「2017年度(平成29年度)日野市環境白書」の概要は以下の通りです。

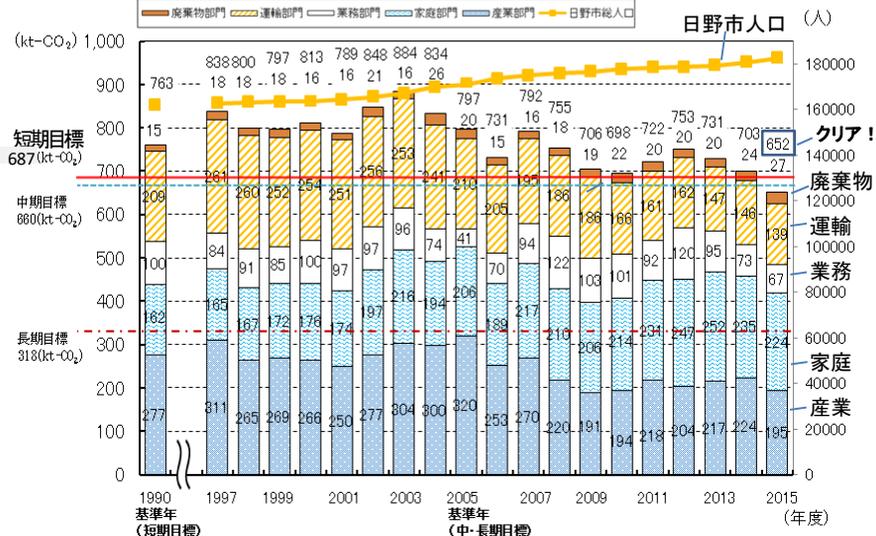
- 2017年度の環境への取り組みトピックスとして次の4つを掲載しています。
 - (1) 日野市立カワセミハウスが開館しました。
 - (2) 「ふだん着でCO₂をへらそう」事業が10周年を迎えました。
 - (3) 「ひの生きものプラン(日野市生物多様性地域戦略)」を策定しました。
 - (4) 日野用水開削450周年事業

- 指標は全体で52項目。評価結果は下のグラフの通りで、環境の現状は厳しいものの行政や市民の努力がうかがえる結果と言えます。



- 分野別の「ここがポイント！」(第2章記載)から
 - ①みどり分野・・・森林の割合、緑被率、農地面積のいずれも減少。特に農地の減少が深刻です。*右上グラフ参照
 - ②水分野・・・浅川の流量(水位)は目標値を未達成の状況が続いていることから、2017年2月より市のプロジェクトチームによる流量測定を実施しています。
 - ③ごみ分野・・・1人1日当たりのごみ排出量は年々減少し、目標値に近づいています。
 - ④地球温暖化分野・・・二酸化炭素排出量は3年続けて減少し、短期目標(2015年度に設定)を達成しました。*右下グラフ参照
 - ⑤生活環境分野・・・「未達成」の指標は1つもなく、良好な生活環境が維持されていると言えます。

◎ 指標36: 二酸化炭素排出量



環境白書は市の環境に関する様々な情報を集約した内容となっていますので、是非ご覧ください。白書の内容は日野市のホームページに掲載しているほか、市立図書館などで閲覧できます。

入手を希望される方はカワセミハウスまでお問い合わせください。

第3回浅川アユまつりが開催されました 大盛況でした！

夏の盛りの8月12日（日）浅川ふれあい橋付近を会場に「第3回浅川アユまつり」が開催されました。

日野市には市域の北側を多摩川、中央には浅川が流れ、これらを水源とする用水路が総延長116kmを超えて延び、古くから人々の暮らしに「水」が大きく関わってきました。

このイベントは、参加者が川に触れることで水辺環境や生物多様性の恵みについて考える機会とし、より多くの人々が日野市の水辺の魅力に気づき、親しんでいただくことを目的として、東京都内水面漁業環境活用施設整備事業補助金を活用して実施しました。また「自然環境の保全」という大きな方向性を共有する日野市と多摩川漁業協同組合日野支部が連携して事業を展開することで、環境保全の推進と漁業の振興を図ることも狙いとしています。



さあ、ガサガサ教室スタート！

当日は、多摩川漁業協同組合日野支部の協力のもと、ピストン釣りやつかみ捕り、伝統漁法の披露やアユ等の伝統料理の試食会など多彩なイベントが行なわれたほか、今年はガサガサ教室やわくわくフィッシングなど、子供が楽しめるイベントを増やして好評でした。

連日雨が続く中でしたが、当日は天候にも恵まれ、参加人数も昨年を上回る約9,000人と多くの方にご来場いただき大盛況でした。

日野市の豊かな水辺環境を存分に活用しPRすることができるこのアユまつりは、「水の郷」と呼ぶにふさわしい日野市ならではのイベントであり、漁業振興の一助ともなるよう今後も実施していきたいと考えています。

2018オクトーバーフェストが開催されました

10月6日（土）午後1時から6時まで「2018オクトーバーフェスト」が日野市立カワセミハウスで開催されました。昨年に続き第2回目のフェスト開催です。昨年は雨模様でしたが今回は天気もよく、市民を中心に昨年を上回る多くの来場者で賑わいました。

主催・運営はカワセミハウス協議会の有志メンバーで構成するオクトーバーフェスト実行委員会です。こだわり・つながり・チャレンジ精神を合言葉に、盛りだくさんのイベントが実施されました。

芝生広場では日野の地ビール「TOYODABEER」の販売や、日野産野菜を使った焼きそばや白玉ぜんざい、ポップコーン、手芸品などの模擬店が出され、どのお店にも行列ができていました。カワセミハウスの館内では新潟県十日町産の布川米のおにぎりの試食会やお米の販売、フェストに参加した12団体の工夫をこらした活動紹介のパネル展示、工作体験、ボードゲームなどで大人も子どもも盛り上がっていました。また、本部企画としてスタンプラリーや日野市の立体地図模型を使ったワークショップ、特別企画としてフェストを訪れた布川米の生産者の方々とのトークショーも行なわれました。

実行委員会のスタッフや参加団体のメンバーのボランティア精神あふれる対応、イベントを訪れた皆さんと参加団体の方々との交流、大人や学生や子どもたちの交流も活発で、芝生広場のあちこちでなごやかな語らいの輪ができていました。



第2回オクトーバーフェスト開催です



ビール販売に行列、完売！



布川米と日野産野菜、売れました！



芝生広場は大賑わい



参加団体ブース



トークショーにもたくさんの人



あちこちに語らいの輪が

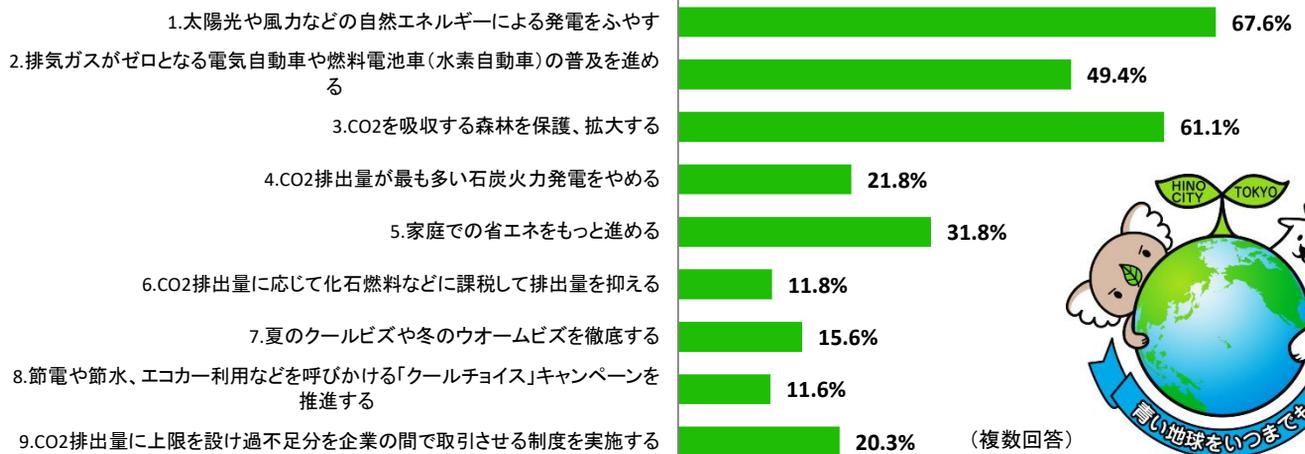
今年のエコキング夏アンケートと同時に実施した「地球温暖化についてのアンケート」結果です

主催：日野市環境基本計画推進会議CO2グループ

今年の6月23日に実施した「平成30年度エコキング夏」のアンケートでは、同時に保護者の方々を対象とした「地球温暖化についてのアンケート」も実施し、地球温暖化への関心度や暮らしへの影響、日本や世界各国で行われている温暖化対策についての評価をお聞きしました。

アンケートに答えていただいた保護者の方は全体で3,270人。内訳は女性30代以下1,097人、女性40代以上1,813人、男性360人でした。全体の回答を集計した結果をご報告します。

- <地球温暖化問題について関心があるか>は「関心がある」44.4%「まあ関心がある」50.1%で、あわせて94.5%と、ほとんどの人が関心を持っています。
- <暮らしの中で温暖化の影響を感じるか>は「感じる」が69.0%で、その内容は「暑さ」が約4割、「大雨」が約1割でした。その他にも「四季の変化が感じられなくなった」「気候がおかしい」「野菜の値段が上がった」「異常気象のニュースが多い」などがあげられました。
- <地球温暖化対策の評価>では有効度が高いと評価された対策のトップ3は下のグラフの通り「1. 自然エネルギーによる発電」67.6%「3. 森林の保護・拡大」61.1%「2. 電気自動車などの普及」49.4%で、自然の力を生かした対策が評価されました。4位は「5. 家庭での省エネの推進」で31.8%でしたが特に女性層の評価が高くなっています。

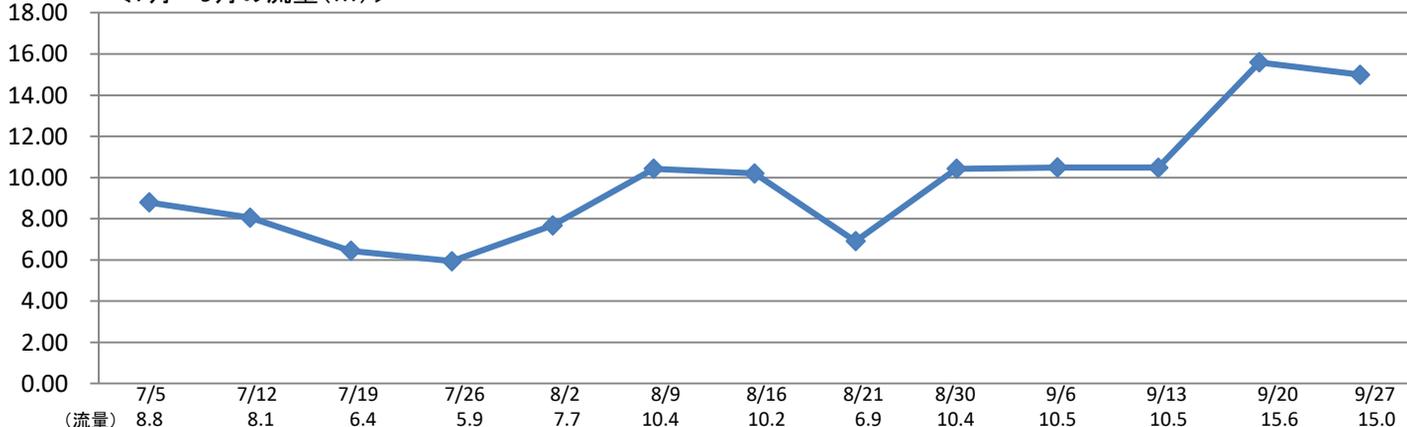


★温暖化の大きな原因であるCO2削減のためには、毎日の暮らしの中でエコ活動を続けていくことが大切です。

黒川清流公園の水路での湧水量測定結果 (2018年7月~9月)

カワセミハウスでは2017年4月から毎週木曜日の朝、黒川清流公園あずまや池出口の水路で湧水量測定を実施しています。水路幅、水深、流速を測定し、これらのデータをもとに1秒当たりの流量を算出します。また水温や電気伝導率も測定、湧水量に大きな影響を与える降水量についても、前回測定日から今回測定日前日までの7日間の八王子地区降水量 (mm) を参考にしています。

<7月~9月の流量(m³)>



7月から9月の1月毎の平均流量、月間推定流量、月間降水量は下表の通りです。9月の月間推定水量は台風21号の影響で今年に入って最も多くなっています。

測定月	7月	8月	9月
平均流量 (ℓ/秒)	7.3	8.1	12.9
月間推定流量 (t)	19,566	24,454	33,411
月間降水量 (mm)	34	298	277



■2018年7月～10月前半の活動報告

- ◆7月18日（水）第2回市民参加のまちづくり勉強会「市民参加と協働のあり方」
18:00～20:00 環境分科会と環境保全課主催で開催。講師は法政大学エコデザイン研究センター長野浩子氏です。日野市の環境活動と市民参加の歴史を振り返りながら、現在の日野市が抱えている環境課題やこれからの活動の在り方について考えました。参加者は16名、活発な意見交換の場になりました。
- ◆7月24日（火）～31日（火）カワセミハウス写真展「日野の昆虫たち」
日野の丘陵地や河川敷に生息する昆虫たちの生態を、日野の自然を守る会の森川正昭氏が撮影した迫力満点の45枚の写真で紹介しました。
- ◆7月28日（土）みんなの環境セミナー「黒川清流公園で昆虫採集をしよう！」
9:30～12:00 講師は日野の自然を守る会の森川正昭氏。日野で見られる昆虫の生態や捕え方を学び黒川清流公園で昆虫採集をしました。参加者は親子9組22名、子どもたちはカブトムシを捕まえて大喜びでした。
- ◆8月26日（日）「浅川ネイチャースタディ」
9:00～12:00 環境分科会主催。浅川ふれあい橋下の広場で開催、参加者は親子5組12名でした。水生昆虫を採取・観察したあとFFATOKYO（フライ・フィッシャーズ・アグリー東京）スタッフのサポートのもと毛ばり釣りを体験、ヨシノボリやオイカワ、エビなどが釣れました。J:com日野の取材があり29日夕方のデイリーニュースで放映されました。
- ◆9月9日（日）第3回市民参加のまちづくり勉強会「住民参加の公園づくりと公園経営を学ぼう」
13:30～16:30 環境分科会主催のまちづくり勉強会の第3回目。講師はNPOフュージョン長池会長の富永一夫氏、参加者は34名でした。公園・緑地・農地の法改正やその活用方法、「日野市ではどうすれば市民力を生かして緑地や農地を残せるか」について講演がありました。
- ◆9月24日（月）～29日（土）カワセミハウス写真展「日野の魚たち」
日野市内の河川や用水で見られる魚たちを水生生物研究家鶴田大三郎氏が撮影した38枚の写真で紹介しました。J:com日野の取材があり26日に放映されました。
- ◆9月29日（土）みみネットシンポジウム「まちの中の黒川清流公園～湧水と生きものたち～」
13:00～16:30 水と緑の日野・市民ネットワーク主催で開催。基調講演「湧水と崖線の植物」に続いて黒川清流公園の湧水の特徴や公園で見られる昆虫や野鳥などについての話がありました。参加者は31名でした。
- ◆10月8日（月）～14日（日）カワセミハウス環境パネル展
市内の環境団体の活動を紹介するパネル展です。主催は環境分科会、18団体が参加しました。
- ◆10月13日（土）みんなの環境セミナー「里やまづくり」
雑木林ボランティア講座の公開講座。講師は明治大学農学部教授倉本宣氏と森林インストラクター加藤勝康氏です。午前には里山づくりについて講演会、午後は黒川清流公園で公園整備体験と植物観察を行いました。参加者は21名でした。

2018年10月後半～12月の行事・イベント予定

- ◇10月27日（土）みんなの環境セミナー「私たちのくらしと水」
私たちのくらしにとって大切な水をテーマに身近な水環境から地球環境の問題まで学び、考えます。講師はカワセミハウス館長小倉紀雄。定員は30名。10月15日発行の広報「ひの」でお知らせしました。
 - ◇11月4日（日）みんなの環境セミナー「歩いて、食べる！日野の田んぼとはたけ」
向島用水を探検しながら田んぼや畑を見学し、せせらぎ農園で収穫体験や野菜の試食をします。主催は日野市環境基本計画推進会議みどりグループ。定員は親子15組。参加費は1組300円。10月15日発行の広報「ひの」でお知らせしました。
 - ◇11月23日（金）～29日（木）12時 カワセミハウス写真展「日野の植物たち」
日野の自然を守る会植物研究グループが発行した「次世代へ残したい日野市重要自然地域の植物相」（2016年10月発行）より、市内で見られる貴重植物を中心に66枚の写真で紹介します。11月15日の広報「ひの」でお知らせします。
 - ◇12月6日（木）みんなの環境セミナー「黒川清流公園の冬を探そう！」
市民環境大学の公開講座。講師はカワセミハウス館長小倉紀雄。初冬の黒川清流公園で、冬に見られる野鳥の観察や豊富な湧水の大切さを楽しく学びます。定員は20名。11月15日発行の広報「ひの」でお知らせします。
- ★12月24日（月）にカワセミハウス大掃除会があります。有志の方、大歓迎！

《カワセミハウス施設概要》
 開館時間：9:00～21:30
 休館日：毎週月曜日、年末年始（月曜日が祝日の場合はその翌日）
 情報発信ラウンジ：環境・地域のコミュニティの場や、散策時の休憩所としてご利用できるフリースペース
 オープンキッチン：IHクッキングヒーターやオープンレンジを常備
 集会室：会議等で利用できる集会室3室（各室約30名収容）
 可動式パーティションを取り払い大きな部屋として使用可能
 その他、授乳室、芝生広場もあります。

使用料：集会室1・2・3とも	
午前（09:00～12:00）	300円
午後（13:00～17:00）	400円
夜間（18:00～21:30）	350円
全日（09:00～21:30）	1,050円

*集会室は1室ごとの料金です。
 *環境市民団体や自治会等は使用料が減免になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。
 *集会室以外は無料で利用できます。

カワセミハウスは地域のコミュニティの場として集会室や情報発信ラウンジ等をご活用いただくことができます。
 申請方法：使用日の属する月の3か月前の1日（各月最初の開館日）から使用当日までにハウス窓口へ使用申請書を提出
 *電話での仮予約も可能ですが仮予約後7日以内に窓口申請が必要です。

発行 日野市立カワセミハウス
 〒191-0052 東京都日野市東豊田3-26-1
 Tel/fax: 042-581-1164
 Eメール: kawasemihouse@jcom.zaq.ne.jp